

● 四国支部

香川県支部

1月19日、第26回「ゆりの会香川」が「J.Rホテルクレメント高松」にて開催されました。



私たちの『青短』は時代の流れの中で閉学となりましたので、同窓会は私の郷愁の場所でもあります。趣味や仕事、家庭のできごとなど、それぞれの近況報告で大変盛り上がりしました。今回は若い会員さんにお孫さんが生まれたことと、我がことのように嬉しく、アットホームな雰囲気のまま時間は過ぎていきました。

愛媛県支部

6月に四国支部総会を松山で開催いたしました。久しぶりに四国四県の皆さまとお会いして、楽しく充実した時間を過ごしました。懐かしい渋谷界隈の話に花が咲き、再開発が進んでいる。将来はニューヨークのような世界一の街になるとか…。いつかみんなで行ければと夢が膨らみます。今年も愛媛県支部総会も予定しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

46 E 47 E S 近沢 恭子

高知県支部

12月10日に、気軽に参加できるようにランチでの忘年会を開催しました。

饗庭恵子さん(49E)のご紹介で食材にこだわった無添加、無化学調味料の中華「弥栄園」に11名が集いました。今回は5年ぶりや15年ぶりに参加してくださった方々も一緒で、とても懐かしかったです。数々の思い出話に添えて近況報告も披露し合い、和やかな楽しいひとときでした。お料理が絶品で全員が完食し、昔の青短生は食欲旺盛でお元気です。食の力とおしゃべりの力は絶大なる若さのエネルギーに変わることを実感しました。

徳島県支部

梅雨の晴れ間をぬって、6月24日山桃狩りに出かけました。小神子にある仁木百子さん(40H)の別荘へ8名で邪魔しました。海の見える高台で、童心に帰り赤い山桃の実を採りました。慣れない山に互いを気遣いながらの、優しい声が響きました。思い思いに過ごした後、ロッジでお弁当とコーヒーをいただき、おしゃべりにも花が咲きました。帰りには、ご用意くださった山桃のお土産までいただき、仁木さんご夫妻のおもてなしに感謝の一日でした。



平6 L 岩田 康子

● 九州支部

2024年は衝動的な幕開けとなりました。1月1日能登半島地震。翌2日は羽田空港での衝突炎上事故と想像を絶する災害が日本をおそいました。そのような中で、正月2日、3日の第100回記念箱根駅伝での青山学院大学総合優勝はともうれしいニュースでした。原監督の今年のスローガン「まけてたまるか」の精神に習い、何ごともがんばりたいと思います。

さて10年近く九州支部長を続けてくださった福岡の目瀬恵さん(43E)に代わり長崎県が九州支部長を引き継ぐことになりました。これまでの目瀬前支部長に感謝いたします。これから、長崎県支部会役員力を合わせて、九州支部の発展に尽くしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。

九州支部の活動は1月28日に各県代表者が福岡に集

まり、近況報



校友会福岡支部の皆さまと

告、次年度の方針など打ち合わせをしました。福岡県支部は例年校友会との合同クリスマス会を盛大に開催されています。昨年度は11月25日に行われ、マジックショー、プレゼントタイムなど和気あいあいとした楽しい会でした。鹿児島県支部は例年1月4日曜日と日時を決めて県支部を開かれています。決まった日時を待つことは長続きする秘訣かと感じました。長崎県支部は総会後の報告を兼ね、県支部を開催しました。長崎、佐世保方面から10名の参加をいただき、近況報告など和気あいあいの会となりました。7年に1度の九州支部総会の開催のたびにご尽力いただいた校友会の朝長則男(45 経)前佐世保市長夫妻へ感謝の花束を贈りました。そのおかげでハウステンポスで開催したクルーズ船上での総会、米軍基地探訪の交流会、平戸教会群を訪ねる旅等、なかなか経験できないツアーが実施できました。1月25日には県支部会を、27日には校友会との合同新年会をしました。



このように、九州支部それぞれの県支部会で活動を続けていくことが大変重要だと思います。今後とも本部のご指導と各県支部会のご協力をよろしくお願い申し上げます。

43 C 村尾 厚子(深堀)